



1955年佐賀県生まれ。
1974年ビッグバンドの雄であった愛知学院大学のスイングオールスターズに入団。アルトの森剣治氏に師事。
21歳でスリー ブラインド マイスレーベルにレコード2枚残す。

1978年京都でピアノの藤井貞泰氏と共演。
1979年上京し、クラシックの富岡和夫氏に師事。
1981年、宮間利之とニューハードに入団。
82年ヤトラジャズフェス、84年ニースジャズフェスに出演。
1984年ニューハード退団。スタジオワーク開始。
ジェイク・コンセプション氏のセクションに参加。
1990年からドラムの猪俣猛氏と共演。
1993年から東京ジャズギルド オークストラのメインテナーソリストとして参加。
1997年猪俣猛氏のシンフォニック ジャズオーケストラに参加。

1998年、豪華客船「飛鳥」のワールドツアーに猪俣猛カルテットのTenorsaxプレーヤーとして参加。
1999年より吉祥寺の「ストリングス」をホームグラウンドにドラムレストリオを結成。ピアニストでは吉岡秀晃、西直樹、青木弘武。

ベーシストでは、山下弘治、加藤真一、香川裕史などの一流のジャズメンと共演している。

2000年よりトランペットの小山宣夫氏と東京マジスティック ジャズオーケストラを結成。

ここでは、リードアルトを担当。

また、2000年5月には猪俣猛カルテットの一員として、2回目の「飛鳥」世界一周ツアーに参加し、メキシコにて初の海外公演を行い、大絶賛を博した。

2001年冬には、自己のカルテット「イースト・クレスト・カルテット」にホーンセクションを加えたメンバーによる、初リーダーアルバム「Star-Crossed Lovers」を自身のレーベルより発売。ジャズライフ誌、スイングジャーナル誌(4つ星)において、高い評価を得た。

また、スタジオのトップトランペッターである数原晋氏の「ディキシーランド ワンステップ」に参加。クラリネットに新境地を見いだした。

その数原氏をして「音色、フレーズとも現時点で最高のテナーだ。」と言わしめた。

2003年より、ジャズオルガンのトッププレーヤーである河合代介氏との双頭バンド「タカノオーガニック ファンキーバンド」をギター・ドラムと共に開始。

ファンキーかつコンテンポラリーなサウンドを目指した。

海外では、2005年JBホーンズやメセオ・パーカーバンドのベテラントランペッターであるロン・トゥーリー氏に認められ、彼のバンドメンバーとして日本ツアーを行った。

世界最高のビッグバンドでの活動、又かつてはジャコ・パストリアスをウェザーリポートに紹介したことで知られる彼いわく、「今ジャズはワールドミュージックとして発展している。国や人種にかかわらず、素晴らしいミュージシャンが世界中から出ている。最初高野のプレイを聴いた時、自分と非常にソウル（魂）が近いと感じた。

それで一緒に演る事にしたんだ」。

彼とはアンサンブルのフォーマットも含め様々なプレイを行う予定である。

以上のような活動の他、通常のスタジオワークも加わり、多彩な活動を展開している。